

疫学調査「口腔がん登録」オプトアウト

①研究課題名	疫学調査「口腔がん登録」
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2018年1月1日～2027年12月31日に北海道がんセッターおよび共同研究機関で口腔がんと診断された患者さん
③概要	口腔は歯牙・顎骨・舌・口底・頬粘膜など様々な部位を含め、咬合・咀嚼・構音・嚥下等の多くの特殊な機能を有しており、悪性腫瘍の発生により様々な障害が生じます。わが国における口腔癌罹患患者は1975年には2,100人、2005年には6,900人であったといわれ、人口の高齢化に伴い口腔癌の罹患患者数は増加しています。口腔がんの治療成績を向上させるためには、疾患の発生頻度、年次推移、地域差、リスクファクター、病態、予後などを正確に把握し、これらの資料を基に多施設による臨床研究・試験を行う必要があります。しかし、全国的な疾患登録と分析は行われおらず、正確なデータは存在しません。口腔がんの発見から治療、機能回復に渡る広い範囲で係わる機会が多い医療施設が参加する口腔外科学会および口腔腫瘍学会を母体とし、口腔がんの特化した登録事業を行うこととなりました。
④申請番号	
⑤研究の目的・意義	① 口腔がん登録によりデータを集積し、症例数、治療内容、生存率等の基礎データを計測し、日本における口腔がん医療の評価・発展に役立てます。 ② 将来の口腔がん研究のための基礎的資料となります。 ③全世界的口腔がん情報との比較を可能となります。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日より2027年12月31日まで 本調査は学会が継続的に行う事業であり、総括責任機関が5年ごとに調査の継続を判断し、研究期間の更新を行います。
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	診療録と手術記録から以下の情報を収集し、口腔がんの疫学調査を行います。収集した情報からは特定の個人を識別することはできませんが、研究に用いられることを拒否したい方は以下までご連絡ください。ただし、データに組み込まれてからは特定個人のデータのみを切り離すことは不可能となることをご了承ください。
⑧利用または提供する情報の項目	性別、診断時年齢、来院経緯、重複がんの有無および内容、喫煙、飲酒、アルコールに対する反応性、慢性的な物理的刺激の有無、緑黄色野菜の摂取、診断日、初発/多発、発生部位、側性、病理組織診断名、進展度（TNM分類）・病期、治療の有無、治療態度、治療内容、原発巣の再建の有無およびその内容、pN分類、経過観察結果（腫瘍の有無、生存の有無、重複がんの有無および確定日）、最終経過観察日または死亡日とその時の病態（腫瘍の有無、生存の有無、死因）
⑨利用の範囲	北海道がんセンター 口腔腫瘍外科 公益社団法人 日本口腔外科学会 一般社団法人 日本口腔腫瘍学会
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	北海道がんセンター 口腔腫瘍外科 医長 上田倫弘
⑪お問い合わせ先	北海道がんセンター 口腔腫瘍外科 医長 上田倫弘 TEL 011-811-9111